

大分商工会議所青年部
令和6年度
提言書



令和7年2月
大分商工会議所青年部
会長 三浦 佑治

目 次

ご挨拶

大分商工会議所青年部 第43代会長 三浦 佑治

第1 提言の趣旨	1 頁
第2 提言の背景・課題	1 頁～3 頁
◆観光 DX とは	
◆観光 DX の活用・促進	
◆ワーケーションポータルサイト【WAKUPO】の拡大	
第3 具体的な提言	3 頁～7 頁
①観光 DX の活用・促進	
②WAKUPO 拡大・周知	
第4 導入費用確保と経済効果	7 頁～8 頁
第5 結語	9 頁
ヒアリング調査先一覧	9 頁

令和6年度政策提言委員会 名簿

政策提言委員会担当	副会長	内海	靖大
政策提言委員会	委員長	秋吉	優子
	副委員長	河野	洋介
	副委員長	山本	博幸
	委員	山本	智裕
	委員	岩崎	克利
	委員	追津	嘉德
	委員	大甲	斐隆
	委員	金戸	実太郎
	委員	近藤	雄太郎
	委員	末光	壯
	委員	其田	恭明
	委員	玉田	健生
	委員	奈良	勇希
	委員	日野	敏徳
	委員	三浦	正
	委員	山本	里美
	委員	山本	卓矢
	委員	和	直美

ご挨拶

私たち大分商工会議所青年部(大分YEG)は、地域を支える青年経済人として地元大分がより豊かな街となる事を願い、夏には大分七夕まつりにおける府内戦紙の企画・運営、今年度は加えて九州 YEG サッカー大会、大分県商工会議所青年部連合会会員大会などを含む様々な事業を行なっております。

府内戦紙は、地域の活性化を図るため行政や地場企業、市民の皆さまと連携しながら毎年「進化」を続け、今年度で記念すべき40回目の節目を迎える事ができ、大分を代表する歴史ある祭りの一つに成長出来たのではないかと思います。数々の困難を乗り越えここまで成長できたのも、各参加者や関係者はもちろんのこと、これまで郷土大分のために情熱と想いのタスキを繋いでくれた先輩方や地元の方々のお陰だと感じます。未来を見据え時代とともに成長できるようこれからも協議を重ねて参ります。

また、平成29年度から始まったこの政策提言事業も府内戦紙と同様に我々が掲げる「次代への先導者」を目指した研鑽活動の一つとして欠かせない事業となりました。

今年のテーマは「ビジネス客向け観光施策」と掲げ、大分市の現状や他都市の事例を調査・研究し、更なる経済波及効果の向上を模索して参りました。

大分と言えば、温泉や海の幸、山の幸などで賑わう全国有数の観光県です。その県都である大分市は産業が盛んな都市として栄えており、第二次産業都市として製造業が多く、それに関係する中小企業も多くあるため、中長期での出張や単身赴任で大分を訪れる方も数多くいらっしゃいます。そうした方々に魅力ある食文化や郷土品、観光スポットを知ってもらい、仕事だけでなく大分を楽しんでいただくことで、またプライベートでも訪れたいと思ってもらえるような機運を高め、後に記載ある通り大きな経済波及効果に繋げることが出来るのではないかと考えました。またそれをきっかけに、人口減少や働き手不足の問題の解消に繋げられる可能性も秘めていると考えます。

今後も、愛する郷土大分の更なる発展に寄与し地域経済の発展の一翼を担えるよう我々も努力いたしますので、この提言の実現に向け、ご理解とご検討を何卒お願い申し上げます。

最後に、この政策提言書の作成にあたり、多大なるご理解とご協力下さいました全ての関係者の皆様へ厚く御礼を申し上げ、私のご挨拶とさせていただきます。

大分商工会議所青年部
第43代会長 三浦 佑治

第1 提言の趣旨

ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的に移動が制限され、思うように旅行を楽しむことができない状況が続いていました。しかし、一昨年から新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置づけられたことで人々の移動が増加しました。これに伴い、家族や友人との旅行はもちろん、企業の出張や研修、社員旅行も増加しており、大分市でも観光客の姿を多く見かけるようになったと感じています。

大分市は、鉄鋼、石油化学、銅の精錬など、内陸部にはITや精密機械などの企業が進出しており、このような進出企業に関連する中小企業も数多く集積し経済活動を展開しています。

また、製造品出荷額等が九州第1位(2023年経済構造実態調査)となっていることもあり、多くのビジネス客が訪れています。特に特徴的なのは、他県へのお出張者と同様に短期のお出張者がいるだけでなく、1ヶ月から3ヶ月ほどの中長期のお出張者も多い点です。これは、大分市が産業都市としての特色を有していることを象徴していると考えられます。この特徴を活かし、ビジネスで訪れた方々を観光客へと転換する観光施策を強化し、地域経済の活性化につなげたいと考えています。

観光戦略は、ここ数年のコロナ禍で低迷した地域経済の復興とさらなる発展に大きな影響を与えるため、ビジネス客向けの観光施策を提言のテーマとしました。

ビジネス客向けの観光施策で地域経済の発展

- ①ビジネス客が利用しやすい観光DXの導入・促進
- ②ワーケーションポータルサイト『WAKUPO』の拡大

第2 提言の背景と課題

◆観光DXとは◆

第2次大分市観光戦略プランでも述べられているように、国は観光業がもたらす経済効果を非常に大きいと捉え、観光を「地方創生の切り札」「成長戦略の柱」に位置づけています。観光庁は、2023年3月に閣議決定した【観光立国推進基本計画】の下で、持続可能な観光地域づくり、インバウンド回復、国内交流拡大の3つの戦略に取り組んでいます。特に、観光DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進では、先進技術を活用して観光分野のDXを進め、旅行者の利便性向上や周遊促進、観光産業の生産性向上、観光地経営の高度化などを図ることを目指しています。

—進められている具体的な取り組み—

- ◇宿泊や体験などに係る予約・決済をシームレス(機能やサービスが連携していて利用者にとって快適である)に行える地域サイトの構築
- ◇旅行者のニーズに応じた情報のレコメンド(おすすめ)
- ◇宿泊事業者における顧客予約管理システム(PMS)の導入を通じた業務効率化およびサービスの高付加価値化
- ◇観光地域づくり法人(DMO)等による旅マエ・旅ナカ・旅アトの予約、移動、宿泊、購買データを活用したマーケティングや観光地経営の戦略策定

観光 DX は、単なる業務のデジタル化による効率化に留まりません。デジタル化で収集されたデータを分析・活用し、ビジネス戦略の再検討や新たなビジネスモデルの創出を促す変革と位置づけられています。旅行者の利便性向上や周遊促進、観光産業の生産性向上、観光地経営の高度化、さらに観光デジタル人材の育成・活用という観点を考慮する必要があります。また、地域の実情に応じた柔軟な推進が重要です。

観光分野におけるDX推進



- 人口減少が進む我が国において、国内外との交流を生み出す観光は、地方創生の切り札。
- 観光分野のDXを推進し、旅行者の消費拡大、再来訪促進、観光産業の収益・生産性向上等を図り、稼ぐ地域を創出。
- 事業者間・地域間のデータ連携の強化により広域で収益の最大化を図ることで、地域活性化・持続可能な経済社会を実現。



※観光庁ホームページ

◆観光 DX の活用・促進◆

観光 DX を導入することは、来訪したビジネス客の利便性を向上させ、着地型観光の強化に大きく寄与します。地元の食を楽しめる場所や、現在地から短時間で楽しめる観光スポットをデジタル化して案内することで、ビジネス客に観光を促すことが可能です。

現代では観光のDX化が注目されており、特にビジネス客に対するより高度で柔軟なサポートが求められています。市内来訪者の動向調査（ツーリズムおおいた）によると、40～50代の来訪者の数は多く観光地などを検索している傾向が見られます。この世代を主なターゲットとし利用しやすいサイトを構築することが、利用者の満足度に応える鍵となります。こうした需要を背景に、観光DXの導入はビジネス観光の利便性向上と地域経済の活性化に大きく貢献すると考えられます。

◆ワーケーションポータルサイト【WAKUPO】の拡大◆

大分市が運営しているワーケーションポータルサイト WAKUPO には、現在（2024年11月時点）、約50社の企業がワーケーションパートナーとして登録しています。このサイトを利用するビジネス客の利便性を高め、地域経済につなげるためには、さらに多様な企業の登録を促進し、より多くの人に WAKUPO を知ってもらうことが必要です。

我々が出張に行った際、空き時間をどのように過ごすか、どの飲食店が人気なのか、さらには新たなビジネスチャンスが見つけれられるのかといった情報を、一つのサイトでまとめて提供できれば、ビジネス客の利便性は格段に向上します。そのため、WAKUPO の進化と発展は、ビジネスで訪れた方を観光客へと誘導

するための重要なツールであると考えます。

地域と連携しながら、登録企業の拡大、地元企業の新たなビジネスチャンスにつながる、PR 活動、そして WAKUPO の利用者への認知度向上を進めることが不可欠です。我々大分商工会議所青年部(以降大分 YEG と表記)は、大分市で青年経済人として活動する中で、自社の成長と地元大分市の経済発展のために、WAKUPO の拡大を支援し、登録企業の増加や認知向上に協力しながら、地域観光を一緒に盛り上げていきたいと考えています。

第 3 具体的な提言

ワーケーションポータルサイト【WAKUPO】を利用して、ビジネス客向けの観光施策による地域経済の発展

出張先での時間の使い方は非常に重要です。ビジネス客は「今いる場所から最も近いコワーキングスペースはどこ?」「地元の食材を楽しめるおススメの飲食店は?」など、時間を有効に活用するために Web サイトで検索をおこなうことが多くなっています。その際、あるサイトが利用者のニーズに応えられること、情報の信憑性が高いこと、そして利便性があることの 3 点を備えていればそのサイトは数あるサイトの中から選ばれます。

現在、大分市が企画・運営しているワーケーションポータルサイト WAKUPO を、さらに魅力的なコンテンツで充実させ登録企業を増やすことは、出張者が大分市をより満喫できる環境を提供する大きな鍵となります。これにより、出張者が観光を楽しむ機会が増え大分市の観光を通じた経済波及効果にもつながると考えられます。

①観光 DX の活用・促進

1、観光プランの拡大・観光ガイドの利用

地域が連携した着地型観光プランの拡大により、ビジネス客の空き時間や休日を充実させることができ、大分の魅力を効率よく伝えることが可能です。また、来訪者が市内を散策・観光することで地元経済の活性化にもつながります。

大分市内には豊富な歴史や文化、魅力的な食、そして大分ならではの温泉があります。これらを効率よく楽しんでもいただくためには、特に時間が限られているビジネス客の行動意欲を引き出すことが重要です。そのため、時間を有効的に活用できる仕組みが鍵となります。

以上を踏まえ以下の施策をおこない、WAKUPO のサイト内で掲載し情報を発信します。

- 各地のボランティア観光ガイドによる歴史や文化をテーマとした観光プランの提供
 - インフルエンサーが推薦する『大分市を効率よく楽しめる歩き方 10 選(仮)』の情報を WAKUPO サイト内での掲載と SNS で発信
 - WAKUPO 登録企業を活用した産業観光企業ツアー(例:工場見学や自社の歴史ツアー)を紹介
- 各地域の観光ボランティアガイド団体—
- ボランティアガイド大友氏遊ぶ学ぶ会
 - 大分府内ボランティアガイド

- ・鶴崎ボランティアガイドクラブ
- ・へつぎ杏の会
- ・さかのせきボランティアガイド協会
- ・野津原ボランティアガイド協議会

費用／地域や内容により異なる

—インフルエンサーの選定—

- ・インフルエンサー例：@oita.navi(フォロワー 5 万人)
- ・費用目安：100,000～300,000 円（企画、台本作成、取材撮影含む）

—【WAKUPO】登録企業の産業観光掲載内容—

- ・WAKUPO に登録された企業の工場見学、自社の歴史ツアー等モデルプランを掲載

2、WAKUPO Pay 導入

先述の通り 40～50 代のビジネス客が、簡単に利用でき、かつ利用者とワーケーションパートナー企業の双方にメリットがあるサイトとして、WAKUPO を育てていくことは地域経済の発展につながります。この仕組みによりビジネス客が観光客となり、「大分にまた来たい」「大分を紹介したい」という想いを持ってもらうことが期待されます。

そこで、WAKUPO をさらに充実させ、特典を付与することで利用者にとって利便性が高く需要が高いサイトになると考え WAKUPO と連動できる“WAKUPO Pay”(キャッシュレス決済専用アプリ)の利用を提案します。

—概要—

WAKUPO へ登録(ワーケーションパートナー登録企業)をおこなっている、飲食店や店舗、企業で利用可能

▽チャージ制度▽

4,000 円チャージすると、1,000 円分の特典を受け取ることができ、計 5,000 円分利用可能

▽経済効果見込み▽

一人当たり単価 5,000 円

▽システム導入・運営費▽

約 600 万～700 万円(ひた Pay 参考)

—導入参考ひた Pay—

新型コロナウイルス感染症の影響拡大・長期化により大幅に落ち込んだ地域の消費喚起と地域経済の活性化を目的とした、県内で初めての電子プレミアム付き商品券「ひた pay」を 2020 年 12 月に発行。これまで発行してきた紙の商品券では、市民が主なターゲットとなっていたが、「ひた pay」は全国のコンビニエンスストアからチャージすることができる。「ひた pay」に 3,000 円分をチャージすると、900 円分の電子商品券と 5,000 円分の電子宿泊券が特典として獲得できるなどして誘客獲得に大きな効果をもたらした。また、近隣の福岡市・大分市等において事業展開をおこなった結果「ひた pay」のスマートフォン等へのアプリダウンロード者数は、2021 年 11 月末時点で約 2 万 9 千人、アプリの登録者数では約 2 万人(市内 9 千人、市外 1 万 1 千人)に達しており、日田市内外も含め非常に多くの方に認知されている状況となった。

3、お土産デリバリー促進・補助金の導入

出張時、会社や家族へのお土産を買いたいと思う方は多いですが、以下のような課題に直面することが少なくありません。

- おすすめ商品が分からない・購入できる場所が不明
- 荷物が増えるのを避けたい・仕事の合間に買い物の時間が取れない

その結果お土産を買いそびれたり、サービスエリアや駅の売店でとりあえず購入したりという経験をされた方も多いのではないのでしょうか。このような課題が解決されれば、出張者のニーズに応えられるだけでなくお土産の消費量の増加が期待されます。

例えば、ディズニーランドでは、サイトから直接お土産を見て買うことができ、購入したお土産を自宅へ配送するサービスを導入しています。これらはゆっくり選べる利点、手荷物を持って回らなくて良いといった利点があり、購買意欲につながっています。また、大手旅行会社でもオンラインでご当地のお土産を注文できるサービスを展開しています。しかし、市民がおすすめしたいお土産とは異なることや、地元のお土産ではないことが多いです。また、販売企業によると、ECサイトでの注文はリピーター客が多く新規顧客の獲得に苦戦している為、新たに WAKUPO で活用出来るようになれば、これまでの顧客にビジネス客が増える期待が持てるという意見もありました。

そこで、WAKUPO の中で注文して自宅や職場に直接届けてお土産デリバリーサービスが実現できれば、選ぶ、買う、運ぶの時間が全て解消でき利用者の利便性が高まります。また、企業側は新たな顧客の獲得につながります。

導入と費用

大分観光ナビのコンテンツ『大分市物産協会の大分のグルメお土産 17 選』では、各企業の物産が紹介されており、各社の公式サイトへ直接アクセスできます。このサイトを WAKUPO でも活用することができれば、利用者が各社の EC サイトに進み商品を直接注文することができます。しかし、現状では大分市物産協会のサイトを經由したお土産注文に関するアクセス数は、月平均 150 件と多くはありません。利用促進のためには課題の解決が必要です。



※大分市物産協会サイトより

各社の懸念と解決策

1. 配送料負担の問題

小口注文や大量注文にかかわらず、配送料が企業にとって大きな負担となる。

2. WAKUPO の認知不足

サイトの存在を広く知らしめるための周知活動が不可欠です。

上記のことから、大分市が補助する仕組みを導入して頂きたいと考えました。WAKUPO への登録及び登

録企業とわかるように自社のホームページや店舗で WAKUPO 登録企業である旨を PR することを補助金の条件として、大分市が配送料を補助するような仕組みを導入して頂きたいです。

参考：大分市物産協会アクセス数月平均約 150

②WAKUPO 拡大・周知

1、ワーケーションパートナー登録の拡大

～大分YEGとWAKUPOの連携による地域発展への貢献～

我々大分YEGには、現在約100社が会員になっており、業種は約30種にわたっています。この多様な業種のネットワークを活用することで、WAKUPOのワーケーションパートナー登録を大幅に拡大するお手伝いが可能です。特に、表1の業種のうち色が付いている6業種は、既にWAKUPOへ登録している企業と同業種であるため、ワーケーションパートナーの登録を新たにおこなうことによりビジネス客の目に留まることも増えメリットが期待されます。

- ・飲食店／クーポン利用によりビジネス客の利用促進、売上向上
- ・製造業／企業ツアー(工場見学・自社の歴史)などを通じた新たなビジネスチャンスの創出

表1 大分YEG登録企業業種別数

業種	登録企業数
小売業	7
製造業	2
菓子製造業	1
IT	2
飲食業	20
宿泊業	2
交通業	1
その他	79
計	114社

—行政と企業の連携による地方創生の推進—

行政と企業が連携することで、地域課題の解決や地方創生に向けた取り組みを進める機会が増えます。

ネットワーキングイベントの開催

- ・定期的な交流会やイベントを通じ、異業種間でのつながりを強化
- ・情報交換を通じて、自社に有益なアイデアや知識を取り入れることが可能

地域活性化の推進

- ・地域経済の発展を目指し、行政とともに施策を立案・実施

これらの取り組みは、我々の綱領で掲げる『地域の経済的発展の支えとなる』ことにもなり、自社企業の成長にもつながります。また、WAKUPOの拡大を支援するとともに、地域全体の経済発展と企業の成長を両立させることを目指します。

2、WAKUPOの周知

宿泊を伴う出張の場合必ず利用するのが宿泊施設です。そこで宿泊施設を活用し、WAKUPOの認知拡大を図る取り組みを提案します。

—宿泊施設での取り組み—

(1)ポスターの設置

- ▶ 宿泊施設のロビーや共用スペースに A2 サイズのポスターを掲示

(2)卓上 POP の設置

- ▶ 客室内に二次元コードを記載した卓上 POP を設置し、WAKUPO サイトへのアクセスを促進

—ワーケーションパートナー企業での取り組み—

(1) 卓上 POP の設置

- ▶ 飲食店や工場見学ツアーの際に、クーポンやノベルティなどの利用者メリットを記載した卓上 POP を設置
- ▶ WAKUPO サイトの利用を促進し、地域全体での取り組みとして展開

—設置場所と目安—

◇大分市内宿泊(旅館・簡易宿舎含む)施設数…108 施設

◇客室数…5,968 室

- ・施設へ A2 ポスター 30 部
- ・客室へ二次元コード記載の卓上 POP2,000 部

費用:100,000 円

また、我々大分 YEG は、大分市だけではなく大分県や九州、日本商工会議所青年部との広いネットワークを持っています。このつながりを活用して、大分市に来訪した方々に WAKUPO の周知を広めることができます。この取り組みにより、宿泊施設利用者やワーケーションパートナー企業の顧客に対し、効果的に WAKUPO を周知することが期待されます。

第 4 導入費用確保と経済効果

令和 5 年の大分県観光統計調査によると、宿泊客数は前年と比べて大きく増加しました。令和 4 年と比較すると、宿泊客数が 22.3% 増加し、全体宿泊客数も 3.9% の伸びを記録しています。市町村別(表 2)では、別府市が最多の宿泊客数を誇り、大分市も 12.8% 増加と好調な結果となりました。

表 2 市町村別宿泊者

	宿泊客数(人)	前年比 (%)
大分市	1,036,274	+12.8
別府市	2,221,045	+33.3
日田市	239,795	+5.6
竹田市	112,945	+34.3
由布市	329,915	+15.1
九重町	74,780	+1.1
その他の市町村	478,252	+22.3
県計	4,493,006	+22.3

大分市の宿泊施設の現状

宿泊施設全 97 施設中ビジネスホテルが 37 施設(約 4 割)を占めており、観光庁の統計では稼働率が高いことが示されています。推定来訪者数は 414,510 人に上り、観光業の発展がうかがえます。さらに、このうち 3 割が WAKUPO を利用すると想定した場合、利用者数を基にした経済効果も期待されます。このように、大分市の観光業は着実に成長を続けており、特にビジネスホテルを中心に宿泊客数の増加が顕著です。WAKUPO の利用が広がることで、さらなる地域経済の活性化が見込まれます。

■導入にかかる費用

大分市の観光業をさらに発展させ、来訪者の利便性を向上させるためには、一定の費用が必要です。具体的には、表 3 に示している概算のようになり、これらを総費用は約 1 億 3144 万 3 千円と試算しています。

表3 各種導入にかかる費用

項目	費用
WAKUPO Pay	124,353,000 円
システム導入費	6,000,000 円
お土産配送料	540,000 円
広告宣伝費	100,000 円(宿泊施設へのポスターや POP)
インフルエンサー	300,000 円(年 4 回投稿)
HP 保守管理費	150,000 円/年
計	131,443,000 円

※124,353 人/414,510 人

しかし、この費用に対して、以下の経済効果が期待されます。

経済効果見込み

WAKUPO Pay により、一人当たり1,000 円の補助に対して、一人当たり5,000 円の経済効果を創出され、飲食店、お土産購入、店舗などで利用をし、約 6 億円の地域経済効果が期待されます。

宿泊税導入による財源確保

この経済効果を実現するため、大分市に宿泊する全ての来訪者を対象に宿泊税を導入することを提案します。

試算例：令和 5 年度の宿泊者数は 1,036,274 人×一人当たり泊 100 円の宿泊税を徴収

約 1 億 362 万 7400 円の予算を確保できます。この財源は、ビジネス客向け【WAKUPO】の利便性向上だけでなく、観光全体のサービス強化や利便性向上に活用され、大分市の観光業のさらなる発展を支える基盤となります。

ただし、宿泊税の導入により、宿泊施設側には財務処理などの負担が増加する懸念があります。この課題を解消するため、石川県金沢市(面積:496 km² 人口:463,254 人)の宿泊税導入後のアンケート(※別資料参照)並びに宿泊施設への改修工事の際の補助金(※別資料参照)事例を参考に、宿泊施設の増改築時に補助金を支給するなど、宿泊施設の負担軽減策を併せて検討することが重要です。宿泊税を適切に活用し、観光業全体の成長と地域経済の活性化を実現するための取り組みが期待されます。

第5 結語

WAKUPO はまだリリースされたばかりでこれからますます利便性を増し、多くのビジネス客や登録企業に使用されていくサイトへと進化していく可能性が高いと感じております。WAKUPOの利便性が高まることは、多くのビジネス客が大分市を観光するきっかけになります。それらは、多くのビジネスチャンスに繋がったり、研修旅行や MICE の誘致先に選ばれたり大分市の経済成長に大きく影響を与えます。様々な自治体でワーケーションポータルサイトが運営していますが、利用する方々がとても便利と感じてもらえる、”全国一利用しやすいワーケーションポータルサイト”を我々大分 YEG と一緒に作らせていただきたいと願っております。

最後になりますが、私自身生まれて一度も大分市を離れて生活を送ったことがありません。毎年大分 YEG が大分市への提言の機会を頂いておりますが、今回のテーマ『ビジネス客向けの観光施策で地域経済の発展』を基に様々な調査をおこなって参りました。これまで、生まれ育った町の進化や発展を感じてきましたが、まだまだ知らないことも多く、古くから伝承され引き継がれてる良きものや、時代にあった進化をおこなっている物など様々な工夫を企業側もおこなっていました。また、大手企業から町工場までさすが産業の町大分と感じるほど、製造業の発展も大分市の魅力の一つと感じました。これからの大分市の魅力や取り組みを多くの方に見てもらい体験してもらいたいです。その為にも、色んな年代の方々が使用しやすい WAKUPO を多くの方に周知し利用してもらえるように我々大分 YEG も頑張ってお参ります。ビジネスでも観光でも行きたい町大分市と言ってもらえるような発展を祈っております。

令和6年度 大分商工会議所青年部
政策提言委員会委員長 秋吉 優子

本提言にあたりヒアリング調査を行った各機関は以下の通りです。

(敬称略)

- ・大分市役所商工労働観光部 商工労政課
- ・大分市役所商工労働観光部 観光課
- ・公益社団法人ツーリズムおおいた
- ・日田商工会議所
- ・金沢市経済局 観光政策課
- ・日本製鉄株式会社 九州製鉄所大分地区
- ・イグジット株式会社
- ・株式会社アクティバリュース
- ・大分おでかけナビ